

令和 6 年度 精神保健福祉センター 事業計画（重点事業）

○ ひきこもり支援推進事業

【取組方針】

ひきこもりの問題に悩む方が地域で孤立することなく、早期に適切な支援につながり、回復・社会参加できるよう、ひきこもり専門相談や家族教室を実施する。また、ひきこもり支援機関との連携を円滑に行い、地域における支援体制の構築やひきこもりの理解促進に向けた取り組みを行う。

【主な事業】

- ・ 専門相談 電話相談 毎週火・木曜 面接相談 月 1 回
- ・ 家族教室 前期・後期 各定員 15 名 1 クール 5 回
- ・ 市民講演会 10 月 11 日（金）
「ひきこもりを理解する市民講演会（仮）」
講師：九州大学 大学院医学研究院精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 氏
- ・ 成人期ひきこもり地域支援センター（よかよかルーム）事業
出張ひきこもり相談会の開催（概ね 3 ヶ月ごとに各区 3 回）
- ・ ひきこもりサポート事業 ゲーム依存等に対応したひきこもり支援

○ 依存症対策推進事業

【取組方針】

依存症に悩む方が早期に相談や治療を受け、地域の中で回復・社会復帰できるよう依存症相談や当事者・家族を対象とした教室を実施する。また、関係機関や民間支援団体との連携を円滑に行い、地域における協力体制の構築や依存症の理解促進に向けた取り組みを行う。

【主な事業】

- ・ 専門相談 電話相談 毎週火・木曜 面接相談 月 4 回
- ・ 依存問題（アルコール・薬物等）で悩む家族のための教室
定員 10 名 3 クール（1 クール 6 回）
- ・ 薬物依存症回復支援プログラム 月 2 回
- ・ ギャンブル依存問題を抱える家族のための会 年 3 回 各定員 30 名
- ・ 市民講演会 11 月 14 日（木）
テーマは、検討中
講師：独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
精神科医師 宇佐美 貴士 氏
- ・ 支援者研修 7 月 5 日（金）
講演①「薬物依存症～市販薬や処方薬を生き辛さの対処に使う若者の理解～」
講師：独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
精神科医師 宇佐美 貴士 氏

講演②「自殺企図者における市販薬の使用について」

講師：福岡大学病院

精神神経科医師 増田 将人 氏

- ・支援者連携会議（年2回）

9月5日 大麻使用者における拘置所の支援と地域連携について実施予定。

2月：依存症回復支援センターエール検討委員会と共催予定。

- ・民間支援団体への支援

- ・依存症パネル展 場所：あいれふ 1階

ギャンブル依存症 5月13日～5月27日

○ 自殺対策事業

【取組方針】

令和5年度から5か年の「福岡市自殺対策総合計画」に基づき、自殺対策協議会の構成メンバーと連携して、4つの重点施策に取り組む。

①様々な分野におけるゲートキーパーの養成と支援

②自殺未遂者支援、自死遺族支援の強化

③若年層、児童・生徒への自殺予防に資する教育の推進

④女性特有の視点を踏まえた自殺対策

【主な事業】

- ・相談事業

自殺予防相談 電話相談、面接相談 月曜日～金曜日

自死遺族法律相談（月1回）

こころと法律の相談 年2回（9月27日、3月26日）

市販薬依存・ゲーム依存相談ダイヤル（委託）

- ・市民講演会

身近な自殺問題福岡市フォーラム

9月10日（火）「テーマ未定」

講師：精神科医 星野 概念 氏、村瀬 孝生 氏

- ・普及啓発（相談窓口の広報）

若年層を対象とした自殺予防にかかる動画制作、SNS 広告事業（委託）

自殺予防パネル展 9月・3月

スポットCM放映（15秒）：天神大型デジタルサイネージ等で放映

ポスター掲示：市民プラザ、地下鉄構内、7～9月、2～3月

自殺予防カード配布：西鉄福岡駅、薬院駅、大橋駅、市内大学

博多ポートタワーライトアップ（3月）

- ・ゲートキーパー養成研修 専門職、教職員、一般市民、その他

- ・自殺未遂者支援研修（11月予定）

- ・リメンバー福岡自死遺族の集い（月1回、対面とオンラインにて実施）

○相談支援事業

【取組方針】

平成 27 年度から専門相談に特化し、アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症、ひきこもり、発達障がい、性同一性障がいの専門相談、及びアルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症、ひきこもりの専門医師による面接相談を行っている。

【主な事業】

・専門相談 電話相談 毎週火・木曜、第1・第3水曜 面接相談 月 5 回